

## 岡山市子ども・子育て会議

平成 26 年度 第 5 回就学前教育・保育部会（議事録＜骨子＞）

日時：平成 26 年 10 月 6 日（月）13:30～16:30

場所：岡山市勤労者福祉センター 5 階 体育集会室

### 開会

### 資料確認

### 議事

#### ・ 成立確認

委員 14 人中 12 人の出席により、成立を確認。

#### ・ 教育・保育の「量の見込み」と「確保方策」について

事務局 資料 1～4 を一括説明。

資料 1 「教育・保育の「量の見込み」と「確保方策」について」

資料 2-1 「教育・保育提供区域一覧表」

資料 2-2 「「量の見込み」年度別集計一覧表（最終案）」

資料 3 「市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」及び「確保方策」等に関する調査について（内閣府通知 H26.9.10）」

資料 4 「教育・保育の「量の見込み」と「確保方策」（素案）」

部会長 論点としては、3 つほどあると考えられる。1 点目が、量の見込みと確保方策について、ゼロに向かうための目標年度をどこに置くのか、31 年度にゼロになればいいのか、一番ピークになると思われる 29 年度に置くのか。早ければ早いほど良いと思われるが、その準備が可能かという点。2 点目は、既存の施設をできるだけ活用するのか、新しい施設を入れていくのかという点。3 点目は、提供区域だけのことを考えるのか、あるいは、隣り合わせも考えて、隣りあわせの数字とも調整しながら、プラスマイナスもいくらか考慮していくのかという点。これらについての意見をいただきたい。

委員 29 年度を目途に目標年度を定めた方が良いが、国からの補助が、そこまで使えるのか。

事務局 これまで、待機児童解消加速化プランを何回か紹介したが、予算の関係があるので、3 月にならないと最終的な確定ということにはならない。可能性としては、来年度も施設整備が出来るものと考えている。

委員 岡山市内 30 の提供区域も隣りあわせを考えて良いということか。30 の区域の中でどこを選んでも良いということか。

事務局 提供区域の隣りあわせ同士で、片方が足りず、片方が余っているというところもある。このような場合に、こちらが足りないから、こちらを必ずつくるということ、絶対にしないといけないわけではないので、そのあたりの、ご意見をい

ただきたい。

部会長 平成29年度を目標年度にしたかどうかという意見があった。出来るだけ早い方が良いということであれば、平成27年度・28年度の場合、実現は可能か。

事務局 27年度はすでに数字を入れているが、これ以上、増えるとなれば、地域型保育事業の方に一斉に手を挙げてもらうことになるが。来年4月まで半年もないので、4月からの受入れは、難しいと考えている。

委員 岡山市にはたくさんの公営施設があるが1号の数字は余っており、それを2号3号に使えるのであれば、いくらか緩和の方向に向かうのではないか。施設として敷地も十分あるものは、利用すれば良いのではないか。

委員 大きい施設でいくのか、小さい施設でいくのか、地域型になる可能性もあるが、地域型保育がどういうものか十分な議論がされていない。こどもたちが施設で亡くなっているようなことが増えている中、怖いと感じている。できるだけ早く進めていきたいが、地域型保育をやみくもに進めることは非常に心配である。

部会長 地域型保育が心配ということであるが、事務局より地域型保育について、再度説明してほしい。

事務局 (事務局より地域型保育事業の4つの類型〈小規模保育事業・家庭的保育事業・事業所内保育事業・居宅訪問型保育事業〉について説明。)

なお、小規模保育事業の中で、A型はすべて保育士資格を要する方、B型は国では2分の1以上でしたが、岡山市は条例で、4分の3以上と若干国よりも資格要件を厳しくしている。

部会長 目標年度を早くするためには、地域型を使わざるを得ないが、地域型について不安があるという意見があった。そうすると目標年度を早くには出来なくなるが、そのあたりの意見はどうか。

委員 児童福祉法24条第1項という、自治体の実施責任が直接関わってくる施設には、やはり保育園となる。地域型保育ではなく、施設型保育で利用を増やしていくのが良いと考えている。

委員 既存施設を活用する意見に賛成であるが、幼稚園については、3歳児保育や、預かり保育という、今までにない付加価値を付けた上で、既存施設の活用を考えていただきたい。岡山市では、認定こども園で対応していくとのことだが、そういったことにより、待機児童の解消にもつながっていく。今ある公立幼稚園の空き教室などを利用して対応してほしい。

委員 小規模保育も、岡山市が責任を持つのか。

事務局 小規模保育を含めた地域型保育についても、認可と確認は岡山市で行うので、そこは保育所と何ら変わらない監督指導権限である。

委員 幼稚園の施設は、給食室を作って活用しないともったいない気がする。

部会長 だいたい委員の意見では、既存の施設をしっかりと活用しないともったいないということであった。そして目標年度を平成29年度にしたかどうかという意見が多かったように思う。他に区域の隣りあわせなどについて意見があるか。

委員 保育園は学区がないので、卒園後は9つくらいの学校に園児が分かれる。以前の利用者へのアンケートでは、保育園に預ける際に何を考慮するかということでは

は、第1位は、学区、近所であることであった。次は、仕事上のルート上である所で、出来るだけ近い所であった。そうしてみると、隣の区域も考えるのは違和感が無いと感じる。

委員 待機児童解消加速化プランは公立施設も適用されるのか。

事務局 私立施設の整備のみになる。

#### ・「教育・保育提供区域における公立施設の設定について」

事務局 資料6「公立施設一覧表(試案)」

事務局 (1ページ・北1〈伊島・津島小学校区〉を説明)

部会長 今回、この部会では、ここが妥当ではないかというのを一応決めて、それを事務局が地域に入って、地域の方々の話を聞いて、最終的な決定はそこで行われるということ、これまでも説明している。

甲乙つけがたく、この部会で決定を下すのは難しい場合には、仕方ないと考えている。一つに絞る、2つの場合の並列(白紙)、3つ以上の場合の並列、複数に軽重をつけるという、4つの結論の出し方がある。

委員 この委員のせいで、こうなったということであれば、委員も言いたいことが言えなくなる。今言われた進め方については、賛成というか、そうならざるを得ない部分がある。

部会長 それでは、そのようにさせていただく。まず、北1は、いずれの園も2つずつの選定基準をクリアしている。こういう状況の中で、伊島幼稚園を候補として挙げた理由は。

事務局 定員や保育室の数など、規模の面で、より大きい方が、今後、認定こども園とした場合により多くのことに対応できるということで選定している。

部会長 伊島幼稚園の選定基準の2に○がついていない理由は何か。

事務局 幼稚園なので、エアコンや調理室が設置されていないということである。幼稚園には、このような設備が無いので、認定こども園に移行する場合は、設置が必要になる。

委員 以前、アンケートを取っているのであれば、3歳児保育や預かり保育など、すぐに認定こども園に移行するのではなく、そういうことも考慮しながら進めてほしい。

委員 伊島幼稚園は、築50年になるが、改修する予定なのか。

事務局 耐震のところに○が入っている通り、耐震改修が必要な施設となっている。現在、園の優先順位をつけて、耐震改修を行う準備を進めている。今後、財政的な面も考慮しながら検討していく。

部会長 建替えは何年程度を想定しているのか。

事務局 建替えではないが、耐震改修を幼稚園では平成29年度位、保育園は平成30年度位までに対応できるよう検討している。

委員 認定こども園候補ではない園について、今後、地元に入った時に今後の活用やスケジュールなどについて説明されると思うが、委員にも情報として伝えてほしい。

- 部会長 地域の方や保護者にも一番関心が高いことではないかと思う。地域に入る時には、そのあたりをきちんと説明してほしい。
- 委員 この区域は2園しかないので、どちらかということになれば、敷地面積が倍違うということであれば、伊島幼稚園ではないか。
- 部会長 それでは伊島幼稚園を候補としてよろしいか。
- 事務局 (2ページ・北6〈足守・蛍明・鯉山・加茂・庄内小学校区〉を説明)
- 部会長 主な意見に、庄内幼稚園の方が規模が大きく、庄内保育園は定員がいっぱいであるとのことだが、それにもかかわらず庄内保育園を選定した理由は。
- 事務局 施設の定員や築年数などを考慮し選定している。
- 委員 さきほどの量の見込みにある状況を考えると、複数を候補に挙げる必要もある。敷地面積、園庭面積も多いということでは、庄内幼稚園ではないかと思う。また、この区域は足守地区など、広範囲にわたっている。どの園も2つの選定基準をクリアしているので、2つか3つを候補に挙げて良いのではないか。
- 委員 庄内保育園は定員が110人であるが4月の時点で定員を超えている。1号認定のこどもが入る余裕はない。庄内幼稚園は空き教室があるということであれば、認定こども園にするのか、3歳児を受け入れるのか、一時預かりを実施するのかなどを考えていけば良いのではないか。または、保育を必要とするこどもを受け入れる庄内保育園の分園とするなど、いろいろ考える必要があるのではないか。
- 委員 庄内保育園だけではなく、既存の保育園はどこも定員がいっぱいと聞いている。その中で、1号認定を受け入れるのはどうかと思う。
- 事務局 幼保連携型認定こども園は、必ずしも待機児童対策に寄与する訳でなく、「在り方」にあるように、その他の要素も考慮している。保育園の候補がすぐに1号認定を受け入れられないのは把握している。今後、検討していく中で、幼稚園だけであれば、調理室の設置など多くの設備の新設を伴い、財政的な面も考慮する必要がある。そのようなことも考慮する中で、今回のような選定となっている。
- 委員 庄内幼稚園が認定こども園候補でないと、地元での説明が苦しいのではないか。1つということであれば、客観的に見て庄内幼稚園ではないか。
- 部会長 北6は、庄内幼稚園を候補としていく。
- 事務局 (3ページ・中4〈竜之口・幡多・財田小学校区〉を説明)
- 部会長 すべて2つの基準を満たしており、その中で、幡多幼稚園が規模が大きく耐震改修が必要ではないとのことであった。
- 委員 幡多幼稚園は入園児も多く、財田幼稚園は、園児が60人程度で、空教室もあるということであれば、こちらをどう利用するかを考えていけば良いのではないか。
- 委員 そもそも認定こども園の推進自体賛成していないので、部会案についても全会一致ではないということは、ご理解ください。
- 委員 最終的な候補は1つ以外はだめなのか。
- 部会長 地元にとっていく案は複数あっても良い。この部会案は複数案も有りとする。
- 委員 この区域の辺りはどの保育園も定員を上回っている。
- 委員 幡多幼稚園はマンモス校であり、3つの保育園も定員を上回っている。財田幼

稚園も候補に入れてはどうか。

委員 財田幼稚園も候補に入れてよいのではないかと。必要と思われる園は、この部会で挙げるべきだ。

事務局 補足であるが、財田保育園は道路が狭い。また、沢田と祇園に私立の認可保育園が設置される予定である。

部会長 道路の状況は、地元や保護者もご存じなので、この部会では、幡多幼稚園と財田幼稚園を並立の候補とし、あとは地元で協議してもらうことでよろしいか。

事務局 (4ページ・中5〈富山・旭操・操南・操明小学校区〉を説明)

委員 操南幼稚園は、幼稚園に入る道が狭い。また、私立認可保育園の分園が出来るのは、操南のあたりと聞いている。これらはすべてバイパスの南側になるので、バイパスの北側に認定こども園候補を選定してほしい。

部会長 操南幼稚園の道路はどれくらい狭いのか。

事務局 田んぼ道になっているが、財田保育園ほどではないと思われる。この区域はすべてが幼稚園であり、富山幼稚園は西大寺線に面しているが、車を止めるのが難しい場所にある。操明幼稚園は、小学校の1階にあり、幼保連携型認定こども園としての使用には制限を受ける可能性がある。そうすると操南幼稚園と旭操幼稚園が残る選択肢となる。

部会長 それでは、操南幼稚園と旭操幼稚園を並列で選定してよろしいか。

事務局 (5ページ・東2〈可知・古都・芥子山小学校区〉を説明)

部会長 この区域は、これまで特段意見の出ていないところであるが。

委員 可知幼稚園は定員220人に対して、園児数62人、空教室もあると思われる。また、近くの可知保育園は定員を超えた受入れを行っている。可知幼稚園も候補としてはどうか。

部会長 可知幼稚園ではなく、芥子山保育園を候補とした理由は。

事務局 最終的には建築年数を考慮している。

委員 候補を選定するにあたって、待機児童の解消を考慮しているのか。

事務局 認定こども園は、かならずしも、待機児童の解消には、つながらないと考えている。

部会長 それでは、芥子山幼稚園と可知幼稚園を並列で選定してよろしいか。

事務局 (6ページ・東4〈角山・城東台・御休・浮田・平島小学校区〉を説明)

部会長 浮田幼稚園では、台風で床下浸水したとのことだが、床下浸水の状況はどのような状態か。

事務局 詳しくは把握していない。

部会長 床下浸水の状況は、たいしたことが無いと判断して良いのか、それとも大きな判断材料となるのか。

事務局 考慮すべき点の一つではあると考えられる。

部会長 これまで、床下浸水によって、通園できなくなったような事例はあるのか。

委員 以前の台風で、園の一角が床下浸水になったことがある、そのようなことも含めて、以前に、平島幼稚園の方が妥当であると申し上げた。

委員 こどもの危機管理のことを考えたら、危険性のあるところは避けた方が良いの

ではないか。敷地面積や建築年数が、あまり変わらないのであれば、平島幼稚園が妥当ではないか。

部会長 浮田幼稚園の状況を、もう少し調べてもらい、次回の結論ではどうか。

事務局 浮田幼稚園の災害の状況を調べて、次回に報告させていただきたい。

部会長 台風などの災害が大きな判断材料になると思われるので、次回に持ち越したい。今回は保留とさせていただく。

事務局 (7ページ・西1〈妹尾・箕島・福田小学校区〉を説明)

委員 道路事情が、悪いともいえないが良いともいえない場所だ。立地は、支所・ふれあいセンターも近くにあり、問題ないのではないか。妹尾幼稚園は屋根のあたりを改修した方が良いと思う。また、福田幼稚園は新しく、地域でも認知されている幼稚園と認識している。結論としては、妹尾幼稚園で良いのではないか。

部会長 今ある情報で判断すると、妹尾幼稚園ということで良いか。

事務局 (8ページ・南1〈浦安・芳泉小学校区〉を説明)

委員 浦安幼稚園は、どちらかという和海寄りになるが、津波や災害など問題はないのか。

事務局 判断材料の一つにはなると思われる。必ずしも問題がないとは言えない。

委員 それぞれの空き教室はいくつあるか。芳泉幼稚園の方が多と思われるが。

事務局 今年5月段階の数値ではあるが、浦安幼稚園は1室、芳泉幼稚園は4室、芳泉幼稚園の方が多。

委員 個人的には芳泉幼稚園と思っていた。選定基準の○の数、施設規模、空き教室、耐震化の有無など、人の流れがあるかもしれないが、合理的に考えて芳泉幼稚園だと思う。

委員 うなずいている人が何人かいるが。手持ちの情報では判断が難しく、簡単に結論を出せない。2つの場合の並列(白紙)でよろしいか。事務局は地域の思いをしっかりと聞いて判断してほしい。

事務局 (9ページ・南2〈芳田・芳明小学校区〉を説明)

委員 芳田幼稚園、芳明幼稚園それぞれ良い点、悪い点がある。芳明幼稚園は施設は新しいが、車が入りにくい。また、給食施設もすぐに作れないのではないか。芳田幼稚園は、駐車場が周りに無くなっているが、小学校のすぐ近くなので給食施設については可能ではないか。近隣の保育園は私立も含めて、どこも満員である。地域のニーズは、両方とも必要であると考え。

事務局 芳田幼稚園は耐震改修で、定員が大幅に減ることになる。2回部分の耐震強度が足りないため、2階部分を撤去する予定である。そのため保育室が半分程度になると想定している。

部会長 耐震改修はいつごろになるのか。

事務局 現在、小学校の耐震改修を行っており、平成27年度以降に耐震改修を行う予定である。

委員 小学校の耐震改修を行っているので、耐震改修の必要性は分かるが、地域のニーズは、どちらの園も強い。

部会長 こちらも、手持ちの情報では判断が難しく、簡単に結論を出せない。ニーズが

あるということであれば、2つの場合の並列（白紙）でよろしいか。最後に今日の内容をもう一度、確認したい。

事務局 北1は伊島幼稚園、北6は庄内幼稚園、中4は幡多幼稚園・財田幼稚園の並列、中5は操南幼稚園・旭操幼稚園の並列、東2は芥子山幼稚園・可知幼稚園の並列、東4は、浮田幼稚園の災害状況を確認し、次回再度検討のため、今回は保留、西1は妹尾幼稚園、南1は浦安幼稚園・芳泉幼稚園の並列（白紙）、南2は芳明幼稚園・芳田幼稚園の並列（白紙）が今回の内容である。

・閉会

次回会議 10月27日（月）を予定。時間・場所などは、後日連絡。